

令和2年度

病院事業 企画経営課の方針書

組織名	病院事業 企画経営課
所属長名	課長 村上 伸夫

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域の人々が安心して暮らせるように、互いに市立病院である認識のもとに二病院が協力して、住民ニーズに沿った医療を提供する。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・経費削減のための材料等の共同購入について、大きな進展が見られない。
- ・医師研修や患者紹介等の診療部門における交流や連携はしているが、両病院の医療機能が違うため、組織活性化のための人事交流が進んでいない。

3. 今年度の『スローガン』

「互いを知り、一歩前へ踏み出そう！」

4. 今年度の方針

○市立横手病院と市立大森病院が互いに効率的な病院経営を目指せるよう、連携事業の実施に向けた相互調整を行う。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	新公立病院事業改革プランの見直し
	取組内容	①見直しのための検討会議や企画経営会議の開催 ②改革プラン策定の総合調整と関係部局との協議
(2)	実現したい成果	共同事業の実施によるコスト削減と効率化
	取組内容	①両病院のホームページ作成システム(CMS)の共同更新 ②両病院で更新予定の防犯システムの共同導入の検討 ③共同購入が可能な材料品目の選定と購入
(3)	実現したい成果	奨学生の募集と合同研修会の開催
	取組内容	①年1回の奨学生の募集について、両病院の日程調整を行う。 ②両病院で奨学金を貸付している学生に対する年1回の研修について、合同で開催する。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 本年夏頃を目処とした国の新公立病院改革ガイドライン改定が再検討されることになり、着手していない。
- (2) ホームページCMSの共同更新は、合同での打ち合わせ会を2回開催。更新業務委託契約を締結し作成中である。その他共同事業は検討中。
- (3) 奨学生募集については、両病院の調整により同日程で行った。奨学生の合同研修は開催日を調整し奨学生に通知したが、コロナ禍により折り合いが付き、それぞれの病院で現役看護師との面談等を中心に行った。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 国の改定等のスケジュールや提示時期がまだ不透明なものの、現改革プランの最終年度であり、実施状況の点検・評価は準備をすすめるべき。
- (2) ホームページCMSの共同更新は、より見易いホームページの制作と使い勝手の良いシステムを目指すため、業者との綿密な打ち合わせが必要。その他共同事業の積極的な取り組み。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 新公立病院改革ガイドラインの提示が延長となり、策定には着手できなかったが、それぞれの病院の経営会議等で方向性を検討した。
 - (2) ホームページCMSの共同更新は、合同での打ち合わせ会のほか、各病院で委託事業と綿密な検討を重ね、横手病院は計画どおり2月に更新。大森病院は不測の事態により、年度末ぎりぎりの3月に更新した。コロナ禍により、その他共同事業に大きな進歩は見られなかったが、感染対策での物資の補充など、互助協力を行った。
 - (3) 奨学生募集については、両病院の調整により同日程で実施した。
- ※今後とも職員募集をはじめとした各事業について、共通認識のもとに連絡調整を行い、協力体制を構築して行かなければならない。